

佐賀県の地震活動概況 (2019年5月)

令和元年6月11日
佐賀地方気象台

【5月の地震活動概況】

5月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震は7回(下図領域外を含む)でした(4月は0回)。

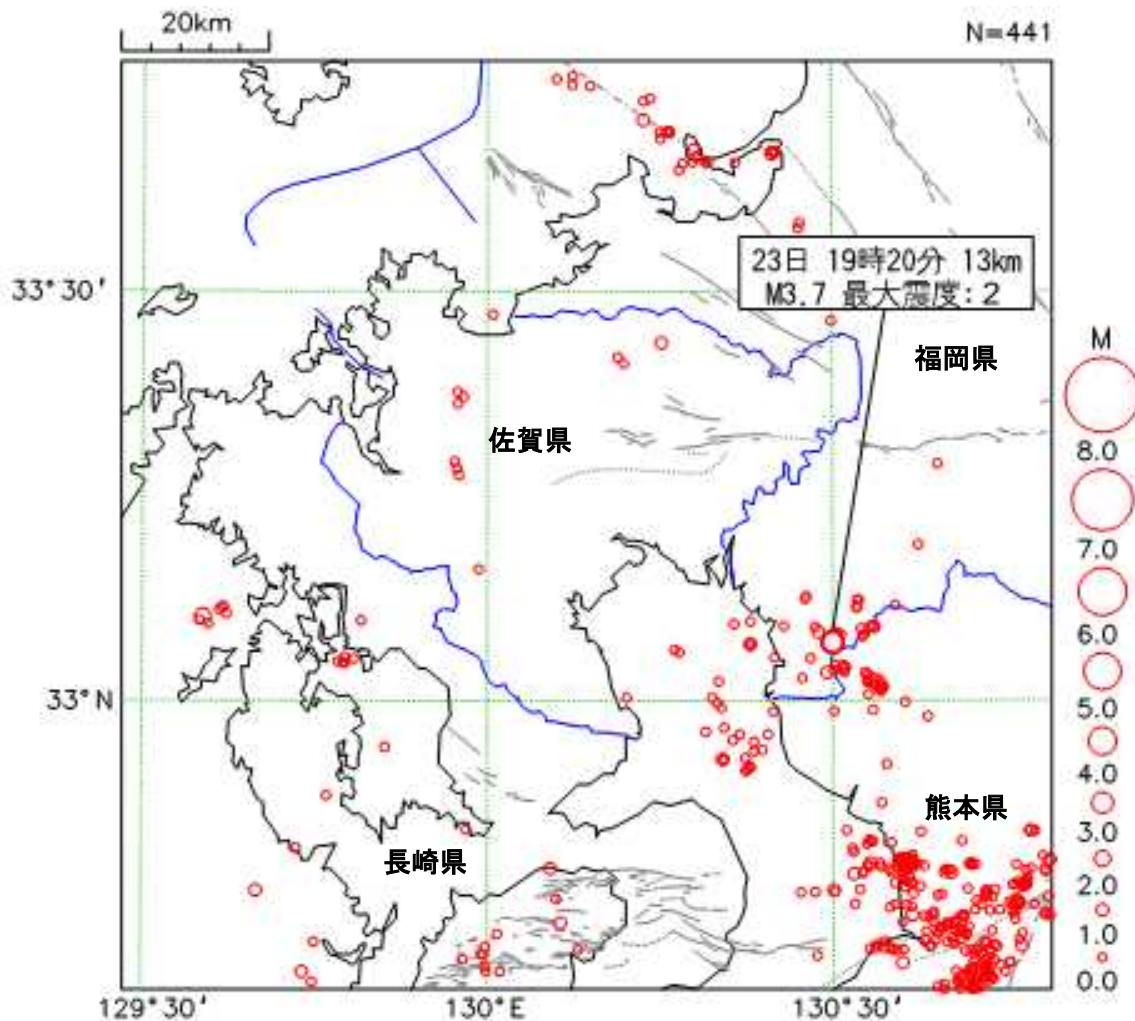


図1 震央分布図(2019年5月1日~31日、深さ30km以浅、M≥0.0)
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

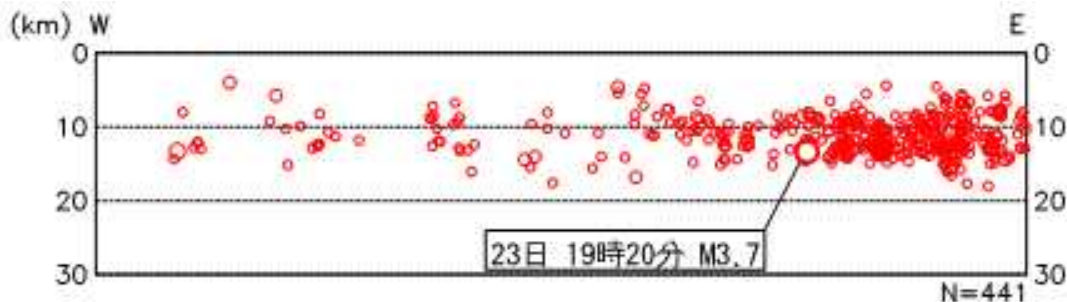


図2 断面図(2019年5月1日~31日、深さ30km以浅)
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

日向灘（1項震央分布図領域外）

10日08時48分に日向灘でM6.3の地震（深さ25km）が発生し、宮崎県の宮崎市、都城市で震度5弱を観測したほか、九州地方から近畿地方の一部にかけて震度4～1を観測しました。佐賀県では、佐賀市、小城市、神埼市などで震度3を観測したほか、佐賀県の広い範囲で震度2～1を観測しました（図3）。また、同日07時43分にほぼ同じ場所でM5.6（深さ25km、最大震度3）が発生し、佐賀県では神埼市、上峰町、白石町で震度2を観測しています（図4）。今回の地震の震源付近で（図6領域b）では、一時的に地震活動が活発となり31日までに震度1以上を観測する地震が9回発生しました（佐賀県では4回）（表1）。

今回の地震の震源付近（図6領域b）は、普段から地震活動がみられる領域で、M5.0以上の地震が時々発生しています（図5～7）。1996年10月19日にはM6.9の地震が発生し、宮崎県宮崎市で震度5弱を観測しました。この地震により、高知県の室戸岬で14cmの津波を観測しました。

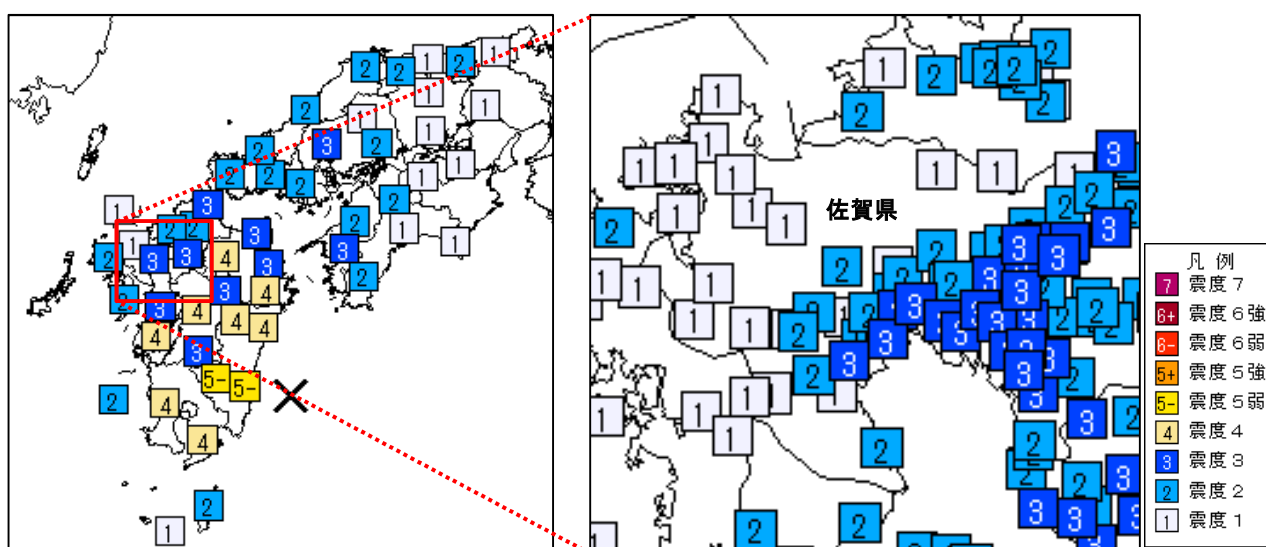


図3 10日08時48分 M6.3（×は震央、左は地域別、右は観測点別）

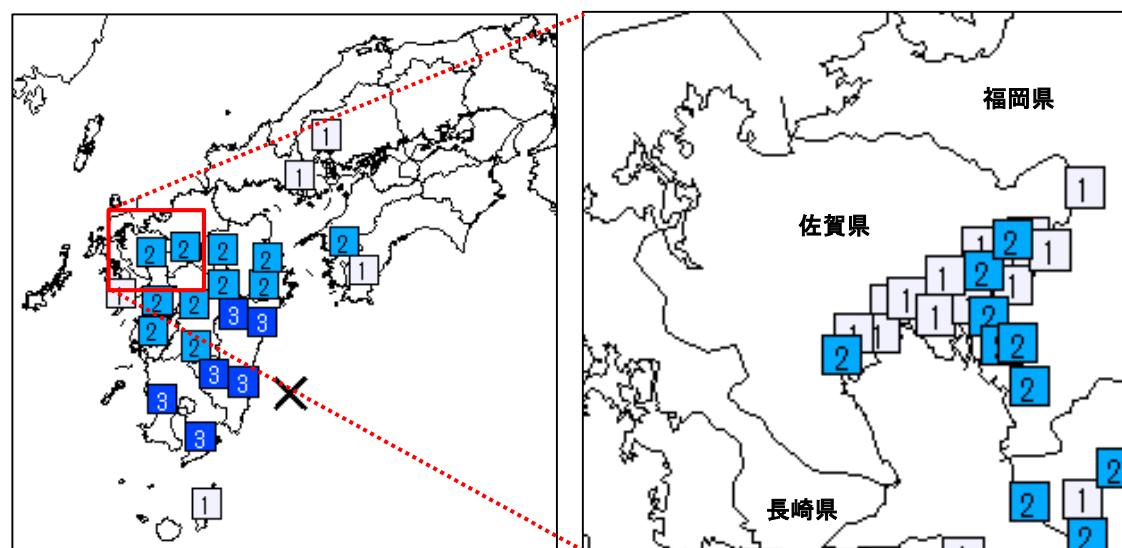


図4 10日07時43分 M5.6（×は震央、左は地域別、右は観測点別）

表 1 図6領域b内で発生した地震の中で震度1以上を観測した地震

NO	地震発生日時	規模 (M)	深さ (km)	最大震度	佐賀県の最大震度
1	10日07時43分	5.6	25	3	2
2	10日07時44分	4.4	23	2	—
3	10日08時48分	6.3	25	5弱	3
4	10日08時52分	3.9	24	1	—
5	10日09時07分	4.9	24	3	1
6	10日13時53分	4.3	25	1	—
7※	10日20時40分	4.7	27	2	1
	10日20時40分	4.2	31		
8	19日10時59分	4.0	29	1	—
9	23日09時02分	3.8	27	1	—

※ほぼ同じ時刻に接近した場所で地震が発生したため、観測された震度はどちらの地震によるものか特定できませんでした。

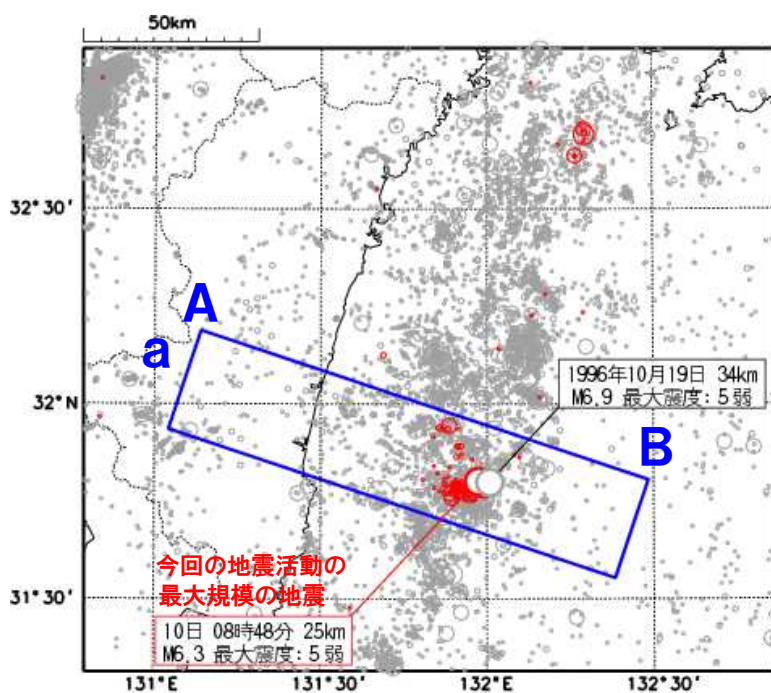


図5 震央分布図
(1994年10月1日～2019年5月31日、
深さ0～80km M \geq 2.0)

※2019年5月1日以降の地震を赤色で表示

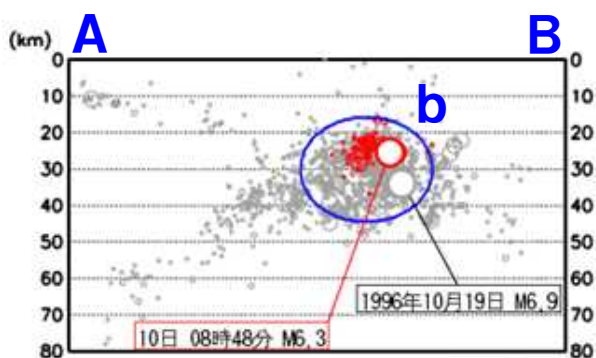


図6 図5領域a内の断面図 (A-B投影)

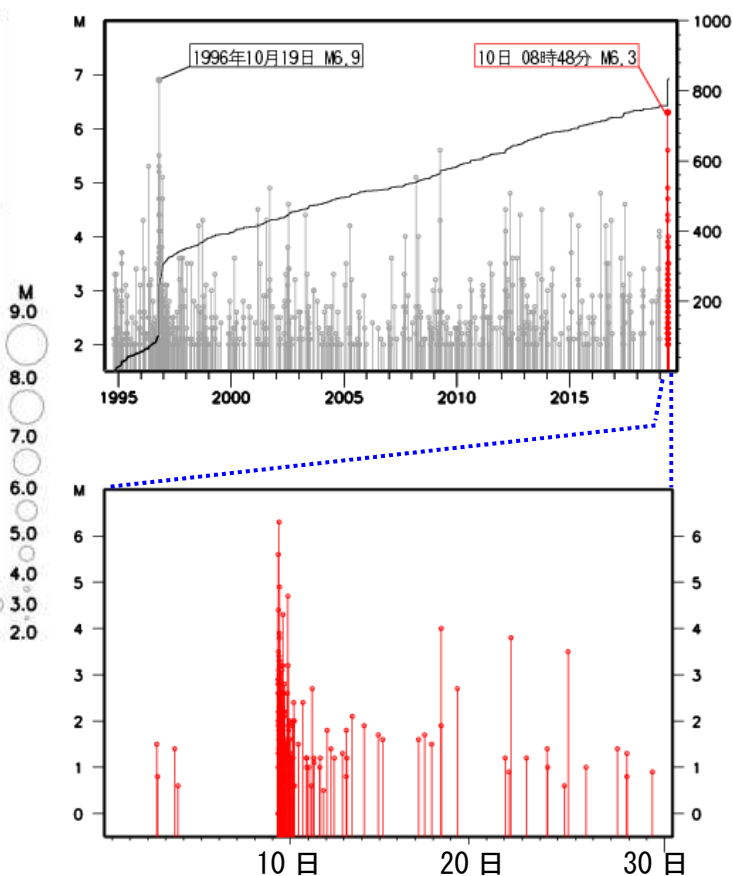


図7 図6領域bの地震活動経過図及び回数積算図
上段：1994年10月1日～2019年5月31日 M \geq 2.0
下段：2019年5月1日～2019年5月31日 M \geq 0.0

日向灘（1項震央分布図領域外）

11日08時59分に日向灘でM5.0の地震（深さ36km）が発生し、宮崎県、愛媛県および高知県で震度4を観測しました。佐賀県では、佐賀市、神崎市、みやき町で震度2を観測したほか、小城市で震度1を観測しました（図8）。また、12日15時07分にほぼ同じ場所でM4.3の地震（深さ37km）が発生し、宮崎県、大分県、熊本県および四国地方で震度3～1を観測しました。佐賀県では、神崎市で震度1を観測しました（図9）。

この地震の震源付近（図領域b）は、M5以上の地震が時々発生しており、2006年3月27日にM5.5の地震（深さ35km、最大震度5弱）が発生し、佐賀県では、神崎市、上峰町で震度3を観測しています（図10～12）。



図8 11日08時59分 M5.0（×は震央、左は地域別、右は観測点別）

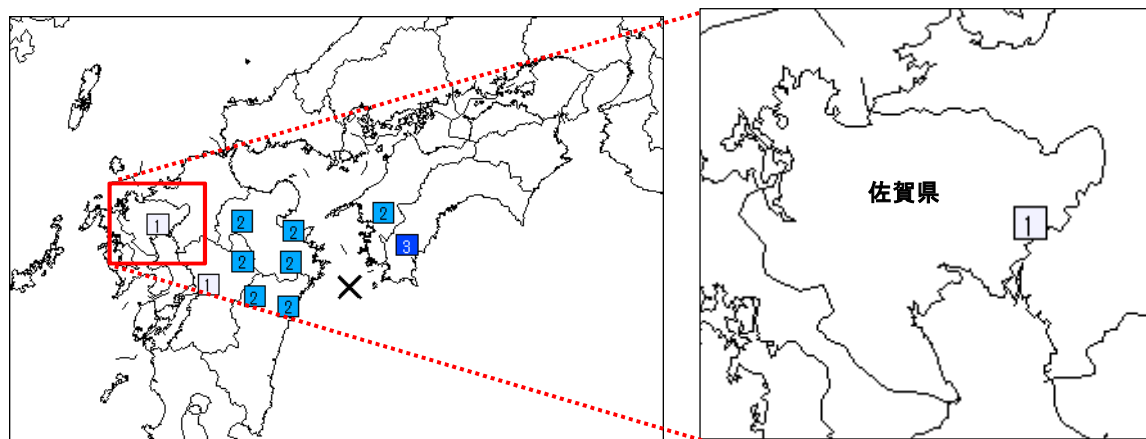


図9 12日15時07分 M4.3（×は震央、左は地域別、右は観測点別）

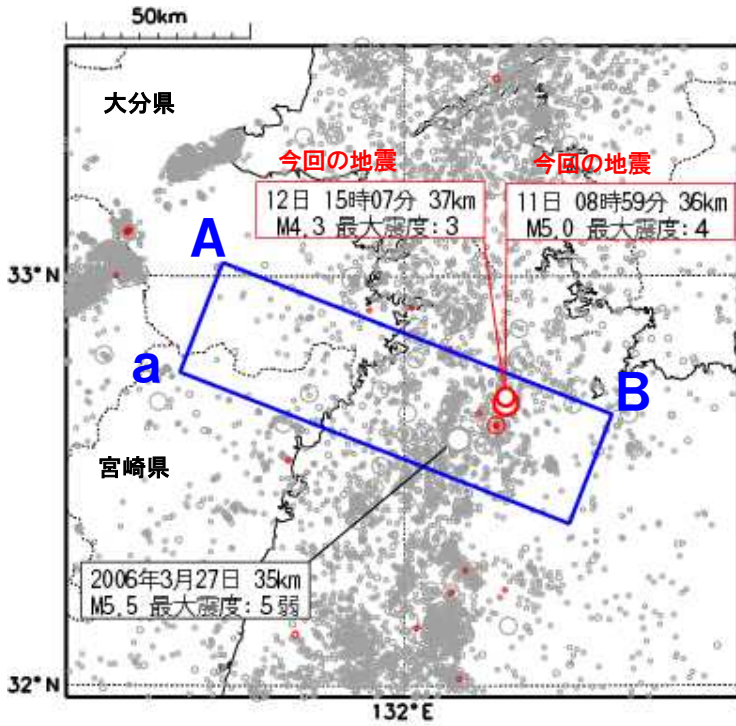


図 10 震央分布図

(1994年10月1日～2019年5月31日、
深さ0～90km M \geq 2.0)

※2019年5月1日以降の地震を赤色で表示

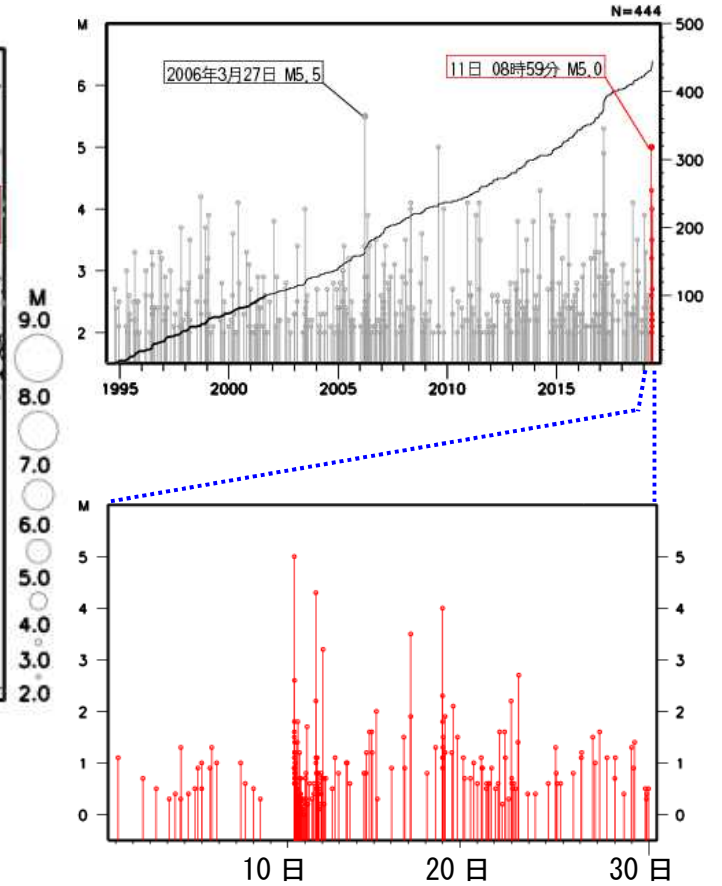


図 12 図 11 領域 b の地震活動経過図及び回数積算図
上段：1994年10月1日～2019年5月31日 M \geq 2.0
下段：2019年5月1日～2019年5月31日 M \geq 0.0

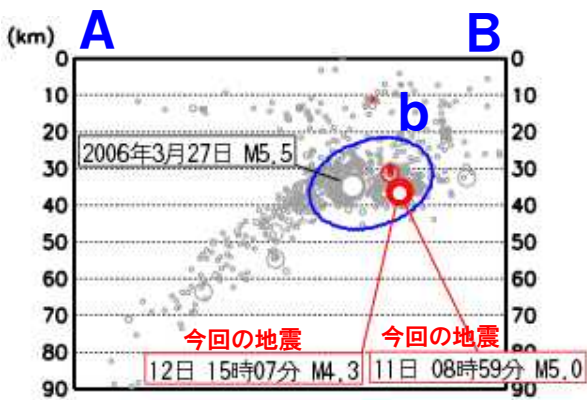


図 11 図 10 領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

23 日 福岡県筑後地方の地震

23 日 19 時 20 分に福岡県筑後地方で M3.7 の地震（深さ 13km）が発生し、佐賀県、福岡県、熊本県、長崎県で震度 2～1 を観測しました。佐賀県では、佐賀市で震度 2 を観測したほか、県内の広い範囲で震度 1 を観測しました（図 13）。

この地震の震源付近（図 14 領域 a）は M4 以上の地震が時々発生している領域で、2019 年 1 月 3 日に M5.1 の地震（深さ 10 km、最大震度 6 弱）が発生し、佐賀県では、佐賀市、武雄市などで震度 3 を観測しています（図 14、図 15）。

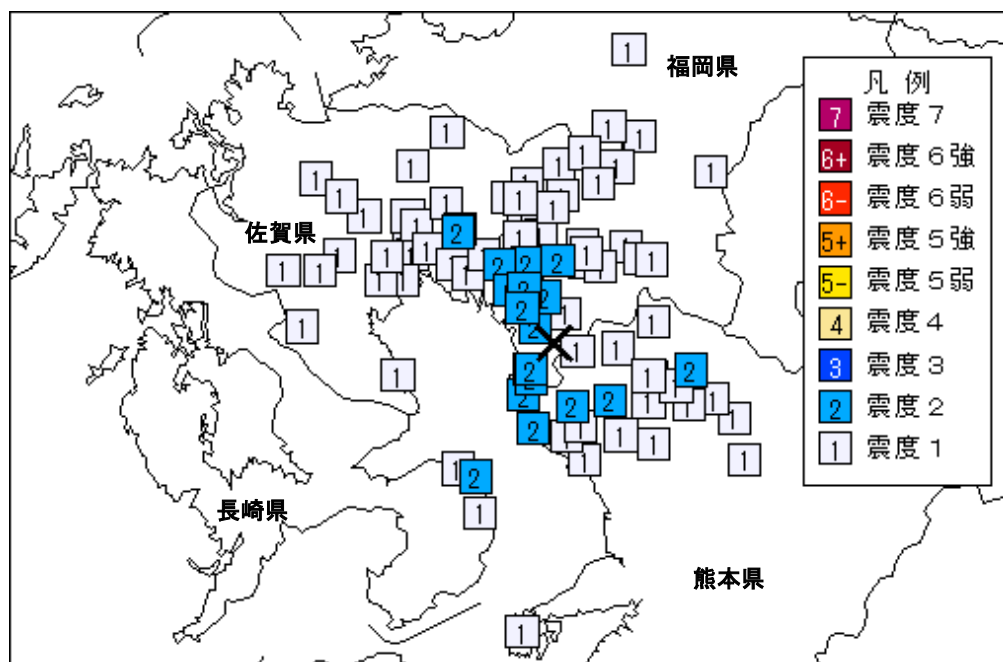


図 13 震度分布図 23日19時20分 M3.7
(×は震央、観測点別)

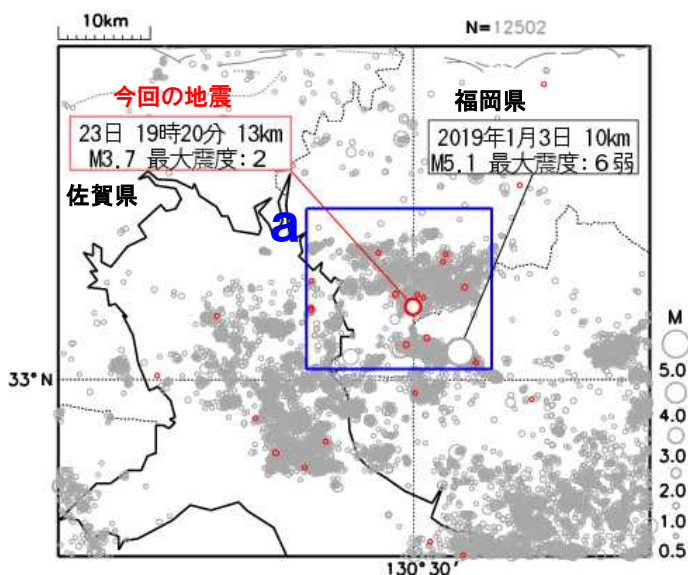


図 14 震央分布図

(2000 年 10 月 1 日～2019 年 5 月 31 日、
深さ 0～30km M≥0.5)

※2019 年 5 月 1 日以降の地震を赤色で表示

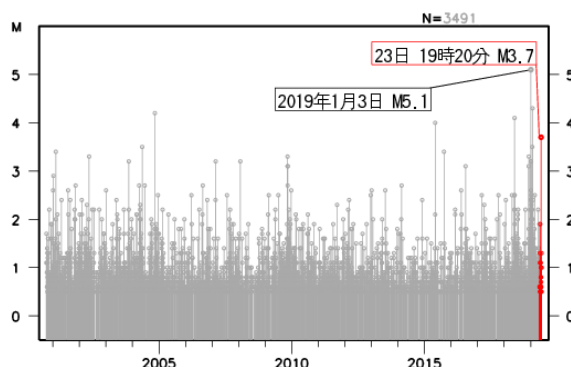


図 15 図 14 領域 a 内の地震活動経過図

表2 佐賀県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震(2019年5月1日~31日)

地震発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
5月10日07時43分	日向灘	31°47.1' N	131°59.5' E	25km	M5.6
佐賀県	震度 2 : 上峰町坊所*, 白石町有明*, 神崎市千代田* 震度 1 : 佐賀市駅前中央, 佐賀市諸富*, 佐賀市東与賀*, 佐賀市久保田*, 白石町福田* 白石町福富*, みやき町三根*, みやき町北茂安*, 小城市芦刈*, 神崎市神埼*				
5月10日08時48分	日向灘	31°48.0' N	131°58.4' E	25km	M6.3
佐賀県	震度 3 : 佐賀市諸富*, 佐賀市川副*, 佐賀市東与賀*, 佐賀市久保田*, 上峰町坊所* 白石町福富*, 白石町有明*, みやき町三根*, みやき町北茂安*, 小城市芦刈* 神崎市千代田* 震度 2 : 佐賀市駅前中央, 佐賀市栄町*, 佐賀市大和*, 鳥栖市宿町*, 多久市北多久町* 武雄市武雄町武雄*, 武雄市北方*, 江北町山口*, 白石町福田*, 太良町多良 みやき町中原*, 小城市三日月*, 小城市牛津*, 嬉野市塩田*, 吉野ヶ里町三田川* 神崎市神埼* 震度 1 : 唐津市竹木場*, 唐津市相知*, 唐津市北波多*, 唐津市肥前*, 唐津市呼子* 伊万里市立花町*, 玄海町諸浦*, 有田町立部*, 佐賀市三瀬*, 武雄市山内* 武雄市武雄町昭和*, 佐賀鹿島市納富分*, 基山町宮浦*, 大町町大町* 小城市小城*, 嬉野市不動山, 嬉野市下宿乙*				
5月10日09時07分	日向灘	31°46.0' N	131°56.9' E	24km	M4.9
佐賀県	震度 1 : 佐賀市諸富*, 佐賀市川副*, 上峰町坊所*, 白石町福富*, 白石町有明* みやき町北茂安*, 神崎市千代田*				
5月10日20時40分	日向灘	31°45.5' N	131°53.7' E	27km	M4.7
5月10日20時40分	日向灘	31°47.5' N	131°54.2' E	31km	M4.2
佐賀県	震度 1 : 佐賀市川副*, 上峰町坊所*, 神崎市千代田*				
5月11日08時59分	日向灘	32°41.4' N	132°17.6' E	36km	M5.0
佐賀県	震度 2 : 佐賀市川副*, みやき町三根*, 神崎市千代田* 震度 1 : 佐賀市駅前中央, 佐賀市諸富*, 佐賀市大和*, 佐賀市東与賀*, 佐賀市久保田* みやき町中原*, 小城市芦刈*, 小城市牛津*				
5月12日15時07分	日向灘	32°42.3' N	132°17.6' E	37km	M4.3
佐賀県	震度 1 : 神崎市千代田*				
5月23日19時20分	福岡県筑後地方	33°04.3' N	130°29.9' E	13km	M3.7
佐賀県	震度 2 : 佐賀市栄町* 震度 1 : 唐津市巖木町*, 唐津市相知*, 佐賀市駅前中央, 佐賀市富士町*, 佐賀市諸富* 佐賀市大和*, 佐賀市三瀬*, 佐賀市川副*, 佐賀市東与賀*, 佐賀市久保田* 鳥栖市宿町*, 多久市北多久町*, 武雄市山内*, 武雄市武雄町昭和*, 武雄市北方* 上峰町坊所*, 江北町山口*, 白石町福田*, 白石町福富*, 太良町多良 みやき町中原*, みやき町三根*, 小城市三日月*, 小城市小城*, 小城市芦刈* 小城市牛津*, 嬉野市下宿乙*, 吉野ヶ里町三田川*				

- ・「*」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素(緯度・経度・深さ・M)は暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・5月10日20時40分の地震は、ほぼ同じ時刻に接近した場所で地震が発生したため、観測された震度は、どちらの地震によるものか特定できませんでした。

「南海トラフ地震臨時情報」等の提供を開始しました

気象庁は、中央防災会議での「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」の変更を踏まえ、5月31日から「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」の提供を開始しました。

5月31日に開催された中央防災会議において「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」が変更され、南海トラフ地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合の国や地方公共団体、企業等の防災対応が定められました。

気象庁では、国や地方公共団体、企業等がこの基本計画に基づく防災対応をとりやすくするため、これまでの「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」や「南海トラフ地震に関連する情報（定例）」に替わり、5月31日から「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」の情報発表を開始しました。

このうち「南海トラフ地震臨時情報」については、情報の受け手が防災対応をイメージして適切に実施できるように、「巨大地震警戒」「巨大地震注意」などのキーワードを情報名に付記します。

本情報の詳細については、気象庁ホームページの報道発表資料（※1）をご覧ください。なお、内閣府（防災担当）（※2）から公表されている「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン（第1版）」には、地方公共団体や企業等における防災対応の基本的な考え方や検討手順等が示されています。

※1 気象庁報道発表資料

https://www.jma.go.jp/jma/press/1905/31a/20190531_nteq_name.html

※2 南海トラフ地震対策（内閣府ホームページ）

<http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/index.html>